

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-38920

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月12日

(51) Int.Cl.⁸
G 0 9 F 17/00

識別記号

F I
G 0 9 F 17/00

P

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-230214

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月22日

(71) 出願人 597122149

入江 尚代

愛知県春日井市高森台1-12-15

(72) 発明者 西本 久幸

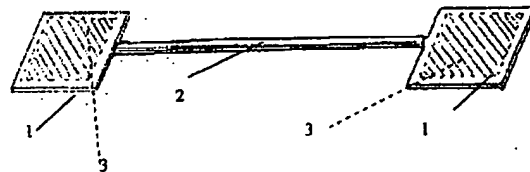
福岡市西区小戸3丁目16-21

(54) 【発明の名称】 のぼり、旗等のチチ及びチチ輪

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 のぼり、旗等の簡易な取り付け及び、風雨によるポールへの巻き付き防止ならびに剥離、破損防止。

【構成】 合成樹脂一体成型によるチチ部及びチチ輪において、ポール保持部を丸紐状となし、チチ端部において接着剤が互いに相接する構造となす。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂よりなる、両端に扁平状のチチを有するチチ輪において、この両端のチチ扁平部を連結してなる帯状のボール保持部を丸紐状に一体成型し、更に当該扁平状のチチ本体裏面に接着剤あるいは両面テープを装着して成る事を特徴としたのぼり、旗等のチチ及びチチ輪。

【請求項2】 扁平状に成型したチチ及びこれを連結してなる帯状のボール保持部を合成樹脂による一体加工となし、この帯状のボール保持部をチチ幅よりも更に狭い幅の扁平状となした事を特徴とするのぼり、旗等のチチ及びチチ輪。

【請求項3】 扁平状に成型したチチの相裏面同士を接着剤、両面テープにより旗面あるいはのぼり素地等を挟持した状態で装着せしめその一部において旗面あるいはのぼり素地の端部よりはずれたチチの相接合部分において互いの接着部分が重なり合うことを特徴とする請求項1及び請求項2のチチ及びチチ輪。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 宣伝広告等に用いられるのぼり、旗、紅白、垂れ幕等の本体をボール、竿に装着するチチ部及びそのチチ輪本体に関する発明である。

【従来の技術】 従来ののぼり、紅白、垂れ幕などのチチ輪は、一本の帯状の布を2ツ折りにして、その両端を相手ののぼり等の端に縫いつけチチ輪とし、この縫いつけ面以外のループ状の部分の部分をボールに通して用いていた。

【発明が解決しようとする課題】 この様な構造のチチ輪にあっては、チチ輪の構成を逐一縫製に頼らざる得ず非常に煩雑であった。またかかる帯状のチチ輪は、雨中では、この帯状のチチ輪部分が雨水を吸いボールに巻き付き、結果チチ輪、のぼりそのものが同ボールに巻き付き役目を果たさないという不備があった。さらには、縫製による取り付けの煩雑さを回避するため布地そのものに両面テープを貼ることも有効であったが布目の凹凸が有効接着面を減じ、結果三分の一程度の接着力しか発揮できずに剥離する難点があった。

【課題を解決するための手段】 本発明にあっては、かかる問題点を解決せんがため合成樹脂により両端に扁平状のチチを構成し、この両端のチチをつなぐボール保持部を丸紐状に一体成型せしめるのである。又このボール保持部を前述扁平状のチチ部の幅よりも更に狭い扁平の

帯状に構成し同ボール保持部の湾曲における腰の強さを調整するのである。かくの如き構成となした本チチ輪の両チチ部の裏面に接着剤、両面テープを貼り付け、しかる後のぼり、旗などの所要位置の布地を同チチ部で挟持し、取り付けるのである。この際、接着面の一部あるいは、接着テープを有するチチ部の端部をのぼり、旗の布地より余分に突出せしめ相接着面同士の接合を図るのである。

【発明の実施の形態】 合成樹脂よりなる、両端に扁平状のチチを有するチチ輪において、この両端のチチ扁平部を連結してなる帯状のボール保持部を丸紐状に一体成型し、更に当該扁平状のチチ本体裏面に接着剤あるいは両面テープを装着せしめる。あるいはかかる丸紐状のボール保持部をチチ幅よりも狭い扁平帯状となして両チチ部と一体成型せしめる。かくして構成したチチ部の接着面を、相接着できうよう余分に被接着布地よりも突出して設けるのである。

【発明の効果】 本発明によると合成樹脂により一体成型されたチチ部及びボール保持部は互いに曲げに対し緊迫力を有し、雨水を吸収することがなく、さらには、丸紐状となしたので雨に濡れてボールに巻き付く事がない。チチ部の樹脂表面をフラットに成型できうる為、従来のごとく布目の凹凸により両面テープの有効接着面積が阻害されることなく強固に接着されるのである。又、同様に樹脂によりボール保持部とチチ部が連結された構造の一体成型であるため、帯部に緊迫力があり布製のボール保持部と異なりボール上での回転が容易となり、加えてチチ部における接着面が互いに相接着した場合、この緊迫力（腰の強さ）により接着面同士の離反が回避できうるのである。かくして従来の縫製によるチチ輪の取り付けと異なり、接着あるいは両面テープにより確実にこの取り付けが行われるため比類のない容易なチチ輪の装着が可能となるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】は、請求項2の斜面図、

【図2】は請求項2の斜面図、

【図3】は請求項3の一部拡大図である。

図中1は扁平状のチチ、

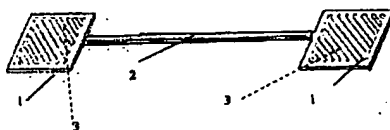
2はボール保持部

3は接着剤あるいは両面テープ

4はチチ裏面の接着剤あるいは両面テープの相接着面

5はボールである。

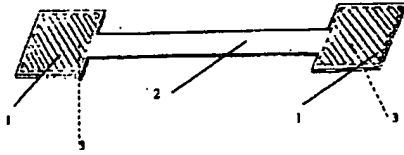
【図1】



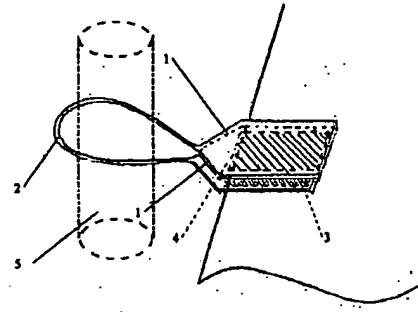
(3)

特開平11-38920

【図2】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 1999-194946

DERWENT-WEEK: 199917

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Loop wheel body of banner, flag - has two-sided tape
adhered to back side of two flat loops which are coupled
with strip-shaped pole holding part

PATENT-ASSIGNEE: IRIE S[IRIEI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0230214 (July 22, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11038920 A	February 12, 1999	N/A	003	G09F 017/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 11038920A	N/A	1997JP-0230214	July 22, 1997

INT-CL (IPC): G09F017/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11038920A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Two flat loops (1) are coupled with a strip- shaped pole holding part (2) at both ends. A two sided tape (3) is fixed to the back side of the flat loop body.

USE - For attaching flags and banners.

ADVANTAGE - Breakage due to wind and rain is avoided. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The drawing shows perspective view of loop wheel of banner and flag. (1) Flat loops; (2) Strip-shaped holding part; (3) Two sided tape.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: LOOP WHEEL BODY BANNER FLAG TWO SIDE TAPE ADHERE BACK
SIDE TWO
FLAT LOOP COUPLE STRIP SHAPE POLE HOLD PART

DERWENT-CLASS: P85

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-143216